

2010年8月23日

昭和電線ホールディングス株式会社
(コード番号 5805)

中国で無酸素銅事業合弁
・・・需要が拡大する中国で無酸素銅の生産拡大・・・

昭和電線ケーブルシステム株式会社(取締役社長 山田眞彦)は、独自の銅荒引き線の製造方法であるディップ・フォーミング・システムによる銅線材事業について、中国の電線メーカーの富通集团有限公司(中国:浙江省杭州市 董事長 王建沂、以下 富通集団)と合弁会社を設立しました。新合弁会社:杭州富通昭和銅業有限公司は、本年9月より操業開始いたします。

中国では電力インフラ網や鉄道網の整備、自動車・家電の普及により平角巻線や極細巻線などの付加価値の高い巻線の需要が増大しています。電気特性や加工性の優れた巻線用の銅線材として、中国でも無酸素銅の引き合いが増加しています。また、合弁会社のある上海デルタ地域は中国最大の銅線材加工・消費地であり、地理的にも優位性があります。

今回の合弁により、富通集団が保有していた銅線材の製造・販売の実績と当社グループの技術と管理ノウハウが融合することで供給体制が整い、中国での高品質な無酸素銅の販売拡大に取り組んでまいります。

記

◇合弁会社の概要◇

- ①社名 杭州富通昭和銅業有限公司
- ②所在地 中国 浙江省富陽市金橋開發区
- ③代表者 総経理 宮田 忠幸
(昭和電線ケーブルシステム(株))
- ④登録資本 50,000 千円
- ⑤出資比率
昭和電線ケーブルシステム(株)50%、富通集団 50%
- ⑥設立日 2010年7月21日
- ⑦出荷計画 銅量 約3万ト/年 [2012年度]
- ⑧投資計画 約2億円 9月操業開始。
- ⑨面積
<土地> 約29,000 m² <工場> 床面積 約19,000 m²
- ⑩従業員数 約60名



= 合弁契約書の調印風景 =

以上

この件に関するお問合せは、下記へお願いします。

経営企画部 IR・広報グループ 03-5532-1911